

タチガレン粉剤

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ヒドロキシイソキサゾールを含む農薬の総使用回数	
稲(箱育苗)	根の生育促進、移植時の発根及び活着促進、ムレ苗防止	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L) 1箱当り4～8g	は種前	1回	育苗箱土壌に均一に混和する。	3回以内(移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注及び灌注は2回以内)	
	苗立枯病(フザリウム菌)、苗立枯病(ピシウム菌)	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L) 1箱当り3～6g					
稲(畑苗代)	根の生育促進、移植時の発根及び活着促進、苗立枯病(フザリウム菌)、苗立枯病(ピシウム菌)	50～100g/m ²			深さ5～10cmの苗代土壌に均一に混和する。		
稲(折衷苗代)	苗立枯病(フザリウム菌)、苗立枯病(ピシウム菌)						
稲(湛水直播)	稲の生育促進による苗立の安定	乾籾重量の3%			過酸化カルシウム剤に添加して種子に湿粉衣する。		1回
てんさい	苗立枯病	250～500g / 10a分の床土(約400kg)			土壌混和		5回以内(種子粉衣は1回以内、育苗土壌への混和は1回以内、灌注は3回以内)
すいか		50～75g / 床土50L	は種前	育苗箱土壌に均一に混和する。	2回以内(育苗土壌への混和は1回以内、苗床への灌注は1回以内)		
ほうれんそう	立枯病 根腐病	40kg/10a	は種3日前～直前	全面土壌混和	1回		
たばこ	舞病	5kg/10a	移植前	—	畦土壌表面処理	—	